

資料タイトル	版サイズ・形式	ページ数・尺	発行年	発行者	形態	概要
「2010年の真庭人の1日」 ～「環境まちづくりシンポジウム」を通して～ 環境と産業の共感ステーション	A4	68	平成10年3月1日	環境まちづくりシンポジウム実行委員会 (真庭地域研修センター＋21世紀の真庭塾)	報告書	平成9年10月10日に開催された「環境まちづくりシンポジウム」当日の記録と、シンポジウム前の勉強会、シンポジウム後の討論の成果を取りまとめた報告書。 21世紀の真庭を「環境と産業」の視点から捉えなおすことを試みた「提案書」でもある。 本書は6章構成となっている。 第1章は21世紀の真庭を「2010年の真庭人の1日」として物語仕立てで提案している。 第2章はシンポジウム基調講演の再録。 第3章は環境保全と経済発展の両立についてのパネルディスカッションのダイジェスト。 第4章は環境まちづくりの市民・企業の取り組み事例の紹介。 第5章は将来の真庭のビジョンを具体的に提案している。 第6章はシンポジウムの概要と開催後の反響やメディアで取り上げられた記事の記録を収録している。
未来に引き継ぐ真庭の森づくり ～平成16年台風23号による森林被害～	A4	143	平成18年3月	未来に引き継ぐ真庭の森づくり検討委員会	報告書	平成16年10月の台風23号によって甚大な森林被害がもたらされた。 その復旧事業と対策が進む中で、真庭森林・林業研究会、真庭森林組合、真庭市、新庄村、美作県民局真庭支局等の林業・木材産業関係者が協働して検討委員会を設置し、台風被害の調査・分析を行った。 また未来に向けた真庭の新しい森づくりの指針を作成した。 それらを体系的にまとめた報告書が本書である。 報告書(1)では台風の気象データと被害の調査・分析、いままでの取り組みと今後の課題をまとめた。 報告書(2)では災害に強い森づくりに向けた施業指針として造成技術などの要点を記述した。 さらに、参考資料として報告書(3)で長伐期施業に対応した施業体系、報告書(4)で森林所有者への意向調査結果も収録している。
未来に引き継ぐ真庭の森づくり	A4	56	平成19年3月	未来に引き継ぐ真庭の森づくり検討委員会	報告書	平成18年3月の報告時点で一部未完となっていた植生回復試験と長伐期林調査、真庭北部の高齢林の調査・分析を平成18年度に行い、報告書として取りまとめたのが本書である。 報告書(1)「長伐期施業に対応した新たな森林施業体系」では、平成17年と18年に行った長伐期林調査の報告をもとに、収穫予想との比較や、長伐期施業の収益性・導入にあたっての留意点、今後の課題がまとめられている。 報告書(2)「植生マットを活用した災害復旧の試み」では、風倒木被害によって発生した表土滑落地において植生マットを使用した緑化の有効性を複数種類の植生マットを利用して調査した。 調査の内容と結果、植生マット施工経費の比較調査が報告されている。
真庭の森林・林業・木材業の展開方向	A4	111	平成21年6月	真庭システム検討協議会	報告書	平成19年度以降、「真庭市森林整備計画」に沿って森林・林業・木材業の振興に向けた指針・ビジョンを検討している。 森林・林業分野では「健全で豊かな森林整備」、製材加工販売分野では品質・規格において水準の高い定量共同出荷体制を整える「真庭システム」である。 本書では森林・林業・木材業の基本的な展開方向を解説しながら、森林・林業・木材業の現状と課題、真庭システムの方向性、重要検討項目、森林・林業・木材業の当面の取り組みについて報告している。 具体的な取り組みとして、真庭市森林整備計画、長伐期施業、流通効率化システム開発、バイオマスタウン構想があり、これらについても詳細を掲載・解説している。
五十年の歩み	A4	54	平成22年4月17日	五十年の歩み編集委員会	記念誌	真庭木材市売株式会社創立50周年記念誌。 「会社(業界)の五十年を語る」の章では銘建工業・矢野木材・真庭木材市売・山陽木材新聞社の4社5名が座談会形式で会社創立からの50年を振り返った内容を記録している。 「真庭の木材産業の推移」の章では真庭地区木材組合理事長の山下忠雄氏が自身の視点から真庭の木材産業の今までと今後の課題などを記している。 「写真と新聞で見る市売(会社)の半世紀」では昭和35年から平成22年までの出来事を写真と新聞掲載記事を用いて、まとめている。年表には日本の出来事も併せて掲載しており、社会情勢と照らし合わせながら社史を振り返ることができる。 以降の章では50年間の取扱高や売上上位者、歴代役員・職員・株主などのデータを掲載している。

資料タイトル	版サイズ・形式	ページ数・尺	発行年	発行者	形態	概要
FOREST GUIDE BOOK OF MANIWA 木材のまち”真庭”を巡る旅 真庭の森林・林業	A4	52	平成27年3月	真庭システム協議会 真庭地区木材組合	パンフレット	真庭市と新庄村を合わせた真庭圏域の自然・観光・林業・木材産業を紹介するガイドブック。 いずれの章でも写真や図表などを多数掲載し、見てわかりやすいガイドブックとなっている。 本書は5章構成。 第1章では真庭の各地域の特色を自然・木材産業の観点から行っている。 第2章は林業・木材産業と関係の深い歴史的な出来事や事柄を紹介している。章の後半では大正期～平成までの木材産業の発展の軌跡を年代別にまとめている。 第3章は真庭の林業・木材産業の現在についての紹介。木材産業の現況を数字を用いて解説している。また、バイオマス産業杜市構想やその取り組み、木材利用の一環としてのCLT普及に向けた取り組みなども紹介している。 第4章は真庭市内にある「木と触れ合える」建造物の紹介。 第5章は真庭の自然を満喫できる観光スポットの紹介。
『2010年の真庭人の1日』への軌跡 ～『21世紀の真庭塾』記録集～	A4	99	平成29年6月20日	企画編集 川村雅人 監修 特定非営利法人 21世紀の真庭塾	報告書	1993年に設立された「21世紀の真庭塾」についての記録集。 「21世紀の真庭塾」が設立された背景、2年間で延べ19回開催された勉強会の概要、参加メンバーの回想をまとめている。 また、勉強会の集大成として平成9年に開催された「環境まちづくりシンポジウム」の概要、その後展開していったまちづくりの取り組み、のちの「真庭バイオマスタウン構想」につながる「21世紀の真庭塾」メンバー企業の事業展開をまとめ、コラムとして当時の振り返りや、今後の21世紀の真庭塾についてのインタビューも収録している。 補足資料①として「2010年の真庭人の1日」の第1章として掲載されていた物語を収録。 補足資料②は「21世紀の真庭塾」23年の歴史を当時の世の中の動きと併記した年表を収録した。
「真庭の材」 丸い木を四角にするなら、真庭	A5 四つ折り	2	令和元年	真庭木材事業協同組合	パンフレット	真庭市に所在地を置く製材所18事業所の紹介パンフレット 取り扱う木材の種類や乾燥方法、事業所の特徴などがまとめられている。 またWEBサイト「真庭の材」(https://www.maniwanozai.com/)とも連動しており、パンフレット内面の5事業所については詳しいインタビュー記事をWEBサイトで閲覧できるようになっている。
世界とつながる真庭林業～真庭の林業・木材産業発達	A4	67	令和3年3月22日	真庭市産業観光部林業・バイオマス産業課	報告書	戦後から現在に至る真庭地域の林業・木材産業の発展過程の報告書。 真庭地域の林業・木材産業におけるこれからのビジョンを描く際に必要な基礎資料にする目的で、調査・分析が行われ、編集された。 本書は4章構成。 第1章では戦後勃興した真庭の製材工場の発展を「流通システムの構築」と「木材乾燥技術の向上」、「それを支えた人材」に注目しながらまとめられている。 第2章は阪神大震災前後での住宅産業・木材産業の変化に銘建工業・院庄林業がどのように対応し、真庭地域の林業にどのような影響を与えたかを分析する。 第3章は国内の木材自給率の上昇に伴い、国産材の供給体制が全国的に整えられる中で真庭地域の製材業・原木市場がどのように対応していったかを分析する。 第4章は真庭地域の素材性産業がバイオマス発電所の稼働によってどのように変化し発展しようとしているかを分析する。その際に関係組織が果たした役割についても述べられている。
持続可能な山林を支援する真庭市 林業ノススメ	A4 フォルダ型	4	不明	真庭市林業担い手就業促進協議会 (真庭市林業・バイオマス産業課内)	パンフレット	真庭市内の林業(FOREST WORKER)の紹介パンフレット 真庭の林業と木材産業、木材資源の需要・価値などの紹介がまとめられている。 フォルダ部分には真庭市内の林業事業者(10社)の紹介パンフレット(A4版・各1P)が差し込まれている。

資料タイトル	版サイズ・形式	ページ数・尺	発行年	発行者	形態	概要
「BeLIN Exhibition 森林をあたらしい場所へ連れて行く」	mp4	22分15秒	不明	主催: 合同会社わっしょいボヘミアン 協力: 真庭市	動画	本動画は、真庭市の林業と木材産業の現状や課題、そして未来の可能性を探るプロジェクト「BeLIN」について考えるトークイベントの記録映像です。 主な内容は以下の通りです ・真庭市の森林資源: 市域の約8割が森林で、そのうちヒノキが7割を占める。 ・林業と製材業の発展: 戦後から製材業が発展し、日本有数の木材産地へ成長。 ・バイオマス発電の導入: 2015年から未利用木材も活用し、資源の循環を促進。 ・現代の課題: 木材価格の低迷や林業の担い手不足が深刻化。 ・未来への取り組み: 地域の製材所や職人と協力し、新たな木材の活用方法を模索。 この動画を通じて、「森とともに生きる未来」を考えるきっかけを提供します。
「シン・駅舎空間創造プロジェクト」CGモデリング	mov	3分43秒	令和3年	制作: 株式会社TATTA・合同会社わっしょいボヘミアン 協力: 真庭市・勝山高校	動画	本動画は、のCGモデリング映像です。 真庭市の無垢材活用プロジェクトで2022年に開発されたBeLINを利用し、JR中国勝山駅開業100周年(2025年)に向けて駅舎をリニューアルするプロジェクト「シン・駅舎空間創造プロジェクト」の一環で制作されました。 駅の最大のユーザーである、勝山高校の学生とワークショップを開催しその成果をCGにしてまとめている。
G7広島サミット2023IMC広報展示・真庭市出展作品	mp4	2分25秒	令和3年	真庭市産業観光部産業政策課	動画	本動画は、G7広島サミットの開催に併せて広島県立総合体育館に設置される国際メディアセンター(IMC)のメディア向け政府広報展示スペースに真庭市が出展する際に制作したものです。 真庭市の展示ブースでは、本映像を上映するとともに、映像に登場する「BeLIN」や「バイオ液肥」を実際に展示することで真庭市の循環の取組が、SDGsや脱炭素といった世界的なテーマと自然に結びつき、広く世界へとつながっていくものであることをPRした。